

小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	音楽「歌って音の高さをかんじとろう ～楽器と合わせて明るい声で歌いましょう。～ (音楽づくり せんりつづくり)」
学年	小学校第3学年
目標	<ul style="list-style-type: none">・旋律や音階などと曲想との関わりに気づき、即興的に旋律をつくる技能を身につける。・友だちと一緒に声や音を合わせて表現したり聴き合ったりしながら、音の高さを感じて表現する学習に進んで取り組む。
教材タイプ	ビジュアル言語
使用教材	Scratch3.0
環境	児童用ノート PC 40台を整備した PC 教室を使用
都道府県	神奈川県相模原市
実施校	相模原市立向陽小学校
学習活動の概要・児童の様子（プログラミングの活動を中心に記載ください。）	<p>○「いろいろな音をスクラッチでつなげてせんりつづくりをしよう」</p> <p>①（教師の準備） 「音」の「○○の音を鳴らす」などを使って、旋律が演奏できるプログラミングを組む。</p> <p>②教科書 p13 を見て、旋律づくりの方法を知る。</p> <p>③作った旋律をプログラミングで実行し、聴く。</p> <p>④音を確かめながら、いろいろな音のつなげ方を試し、気に入った旋律を作る。</p> <p>⑤グループに分かれ、つくった旋律のプログラミングを実行し、それぞれの良さを楽しむ。</p>
成果と課題	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none">・楽器の演奏技能による個人差がないため、どの児童もすすんで旋律づくりに取り組むことができた。・音のつなげ方を何度も試行錯誤させることができた。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none">・事前の教師側の準備に時間がかかる。簡単なプログラミングの知識などが必要である。・楽器を演奏する技能を育てることができない。